

【解答】

- 問一 ①あけぼの ②じぶんどき ③微妙 ④じこく ⑤平凡
⑥いんえい ⑦推移 ⑧無効 ⑨おぼえがき ⑩逆説
⑪ひさん ⑫ふかぎやくてき ⑬実感 ⑭感受性

- 問二 A あるいは B けれども C たとえば
D ごく E だからこそ F 実は

問三 『こころ』

問四 《分け方》ア

《小見出し》

意味段落一（C）／意味段落二（A）意味段落三（D）意味段落四（B）

- 問五 あいまいな、ゆるやかな、しかしゆっくり何かに充たされてくるような、時間の間の時間、
また、陰影やニュアンスや推移をはぐくむ間をもった時間（六七字）

- 問六 ・平凡で、あたりまえで、そうと意識しなければそのまま過ぎてしまう、そんな一瞬である
が、あるとき、ふっと、あのときがそうだったのだということに気づいて、思わずふりむ
くような時間（八六字）。

または、

・ほとんど、なにげなくさりげなく、あたりまえのように過ぎていったのに、ある一瞬の光
景が、そこだけ切りぬかれたかのように、ずっと後になってから、人生の特別な一瞬とし
て、ありありとした記憶となってもどつてくるような時間（一〇六字）。

問七 （表記、字数（適切であるか）

・内容（一日の特別の時間「や、「時間に対する態度」について、問題文をよく読んで、自
分の問題として考えているかどうか）